



皆川 鉄也 議員

平成24年度の 予算編成について

質問 東日本大震災や福島原発事故処理などで景気も先行き不透明である。国内経済も大変厳しい中、新年度における事業展開ならびに予算の編成方針は、**答弁(町長)** 当初予算編成では、事務事業の徹底的な見直しと創意工夫による効率的、効果的な事業の推進を念頭に地場産業の振興と地域活力の源となる雇用の確保、創出等に配慮しつつ、町の均衡的な発展と町民の福祉向上を推し進めたい。経

質問 TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加問題について国内外をみると、農林漁業をかかえている町村だけが反対というムード

TPP(環太平洋経済連携協定)について

再質問 希望のもてる元気で活力ある地域となる、そんな予算編成を目指す町長の町づくりのビジョンとは。**答弁(町長)** 夢がある方向付けを創っていくには産業振興に力を入れるのが一番で、当面基盤となっているものは、農林水産業であるが雇用対策、住宅リフォーム事業も継続したい。

質問 TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加問題について国内外をみると、農林漁業をかかえている町村だけが反対というムード

TPP(環太平洋経済連携協定)について

再質問 何十年もの懸案事項である改良方法、JRとの件、未だかつて一つも解決していない。東日本大震災の時の状況を考え、一刻も早く検討を求め。**答弁(町長)** 避難場所としての価値も含め、庁内で検討する。



今後の当町の農業はどうなるのか...

【用語説明】 TPP: 太平洋を取り巻く国々の間で関税を無くして自由貿易をしようとする取り決め。これに参加すると、食品から家電品等すべての物が外国から安く入ってくる。反対に日本製品も外国に安く売ることができると輸出が増える。しかし物によっては外国製品に押されて国内製品が駆逐されると恐れもある。特に今のままだと農業等一次産業に打撃があると心配されている。

【用語説明】

再質問 TPPの影響問題を町民に理解してもらうため、町でシンポジウムあるいは検討会等や勉強会を開催してはどうか。**答弁(町長)** TPPに関心をもってもらおう立場としては非常に大事だと思つたので、提案された勉強会や講演会であるとか、シンポジウム類のものを検討したい。

学校の規模について



松岡 清悦 議員

質問 少子化が進む中で、5年先の児童・生徒数はどの位か。**答弁(教育長)** 5年後は八森小128人、水沢小78人、埴川小58人で264人となり、平成23年度と比べ87人の減少。八森中87人、峰浜中82人で169人となり、現在より33人の減少と推計され、この状況においては学校教育に深刻な影響を及ぼすことが心配される。標準規模という点だけでなく、どのような学校のあり方が「八峰町の子どもたち」や「地域」、「町」としてよりよいものな

町道八中線について
質問 八森中は災害時の町民の避難場所となる重要な施設でもあるが、送迎車輛の混雑解消のために道路開設は考えられないか。ビューシーラインからのつなぎ線はどうか。**答弁(町長)** 踏み切りの拡幅改良等について旧八森町時代からJRに要望して参つたが、JRの方針もありなかなか実現は容易でなく、今後も要望は続ける。新設道路はルート選定に五能線が並行する地理的、地形的条件等で難しい状況である。山麓線からの路線は、町

空き家対策について
質問 空き家が増えてい



この道の奥に災害時には避難所にもなる八森中がある

再質問 解体に対する助成も一考ではないか。**答弁(町長)** 新しい提案として検討してみたい。
再質問 解体に対する助成も一考ではないか。
答弁(町長) ①当町の空き家数は270戸でその内20戸は管理が行き届いていない。自治会から廃屋解体の要望が出される等、今後危険家屋等に対する苦情が増加すると思われる。町でも空き家の活用を図っているが提供者が少ない。
②解体費用や相続等問題があり放置されているのが現状であり、極めて危険な空き家は所有者に直接面談し解体等の対応をお願いしている。
③空き家等の廃屋化予防のため、「空き家の適正管理に関する条例」の制定を考えている。

かを議論し、慎重に取組んでいかなければならないと考える。最近特に多くなった地域や保護者からの意見・要望等を踏まえ、平成24年度に「八峰町学校教育環境適正化検討委員会」を設け検討していく計画である。

道と学校敷地の段差が大きく道路勾配の計画や土地所有者との協議が必要となり慎重を期すので、まず庁内で検討してみたい。

るが、
①社会問題と捉えているか。
②対策は。
③適切な管理、廃屋放置禁止の条例等の制定の考えは。